

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, May, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○5月の状況 (佐藤)

☆ C/2009 R1 (McNaught) (写真 a)

5月に入って急速に増光し、双眼鏡の光度になってきた。また、コマや尾が日々発達し、CCD画像など記録されている。

5月中旬過ぎ、佐藤英貴氏(東京都大田区)や遊佐徹氏(宮城県大崎市)は米国 Mayhill 近郊の 25-cm 反射望遠鏡のリモート観測による報告を寄せた。

5月18日0:18、佐藤英貴氏は、彗星課メーリングリスト(以下 oaa-comet ML という。)に「C/2009 R1 は、おそらくイオンの尾が 25' 以上 PA260 度の方向に伸びています。急速に増光しています。この彗星はイースター島での日食の際に「日食彗星」として観測できそうです。…」とのコメントがあった。

20日21:48、遊佐徹氏は、oaa-comet ML に「メイヒルのリモートで、C/2009 R1 を観測しました。長いイオンの尾が伸び始め、明るさも順調に明るくなっているようです。6月が楽しみになってきましたね。…モーションが1分間に3"を超えていましたので、ピニング2で30秒露光10フレーム撮像しました。視野内の飽和していない星(Tycho)と比較、コマ内の恒星を除去して全光度8.7等(unfiltered)コマ直径5'.7イオンの尾40' p.a. 258°と観測しました」と報告された。

☆ C/2010 J1 (Boattini)

5月7日着の IAUC 9143 によると、Andrea Boattini は、5月6.38日 UT、Catalina スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡で得た CCD イメージから強く集光した 20" のコマと p. a. 155° に少なくとも 60"-80" の尾のある 15.8 等の彗星を発見した。小惑星センターの "NEOCP" に掲載後、E. Guido と G. Sostero (Mayhill 近郊、ニューメキシコ州の 25-cm 反射を遠隔操作)、佐藤英貴氏(東京都大田区、同)や遊佐徹氏(宮城県大崎市、同)ら多数の位置観測者たちによって彗星状と観測された。

IAUC の発行に先立って、7日16:10、佐藤英貴氏から、oaa-comet ML に次のようにコメントがあった。「米国のリモート観測所はおそらく強風のため、ルーフが閉まっており本日の観測は不可能です。NEOCP に明るい、おそらく彗星である天体 RJ22C64 がありますが、今晚日本で観測できる方がいらっしゃれば狙ってください」

続いて、同日17:12、同氏から観測報告と「H06 のルーフが開いたので、さっそく先ほどアナウンスした RJ22C64 の観測を行いました。やはり彗星のようです。明るく集光した頭部と、PA 165° の方向に 55" の淡い尾が写ります」との報告があった。

同日19:32、遊佐徹氏から同じく「大崎の遊佐です。佐藤さんがアナウンスされた RJ22C64

ですが、私もメイヒルのリモートで観測しました。コマ直径 20"、全光度 16.2 等、60"の尾が位置角 p. a. 165°の方向に伸びています。明らかに、彗星状です」とのコメントがあった。

☆ C/2010 J2 (McNaught)

5月10日着の IAUC 9145によると、5月8.75日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring の 0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡で得た画像から少し拡散した約 10"の丸いコマがあり、尾のない彗星を発見した。小惑星センターの"NEOCP"に掲載後、R. Holmes (Astronomical Research Observatory, 0.61-m 反射, 測定 S. Foglia) や佐藤英貴氏(東京都大田区, RAS Observatory, Mayhill, ニューメキシコ州の 25-cm 反射の遠隔操作)ら多くの位置観測者によって彗星状と観測された。

☆ P/2010 J3 (McMillan)

5月14日着の IAUC 9146によると、R. S. McMillan (Arizona 大学)は、5月12.21日 UT、Kitt Peak の 0.9-m f/3 反射の CCD モザイク画像から p. a. 260°に伸びた短い尾のある 17.8 等の彗星を発見した。McMillan によってフォローアップ観測が行われ、5月12.29日 UT、Spacewatch 1.8-m f/2.7 反射により、位置角 10°にかけて尾が見え p. a. 265°に 30"の長さがあった。5月13.3日 UT、T. H. Bress は、同じ器械で少なくとも p. a. 265°に 50"の尾を見ている。小惑星センターの"NEOCP"に掲載後、G. Sostero, E. Guido, L. Donato と V. Gonano (Tzec Maun Observatory, Mayhill 近郊, ニューメキシコ州, 0.18-m f/2.8 反射による遠隔操作、鋭い中央集光の引き締まったコマと広い尾がある)、佐藤英貴氏(東京都大田区, RAS

Observatory, Mayhill, ニューメキシコ州の 25-cm 反射の遠隔操作)や遊佐徹氏(宮城県大崎市、同)ら多数の位置観測者たちによって彗星状と観測された。

その後、2月 WISE が発見した小惑星状天体 2010 CG₆ と同定され約 27 年の短周期彗星であることがわかった。

☆ P/2010 J5 (McNaught)

5月15日着の IAUC 9148によると、5月12.7日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring の 0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡で得た画像から少し拡散した彗星を発見した。

5月13.63-13.69日と14.52-14.60日 UT、より良いシーイングで得た同望遠鏡によるストックイメージでは、拡散状で北西に 0'.3、西に 0'.2 それぞれ尾が見えた。小惑星センターの"NEOCP"に掲載後、佐藤英貴氏(東京都大田区, RAS Observatory, Moorook, オーストラリアの 0.40-m f/9.1 反射の遠隔操作)ら位置観測者たちにより彗星状と観測された。

その後の観測から8年余りの短周期彗星であることがわかった。

○5月に発見・検出されたその他の彗星

☆ P/2010 H5 (Scotti) 4月21.15日 UT、J. V. Scotti は Kitt Peak にある Spacewatch の 0.9-m 反射で得た画像から 20.7 等の彗星を発見した (IAUC 9144, 2010 May 8)。

☆ C/2010 J4 (WISE) 5月12.24日 UT、WISE によって p. a. 141°に約 400"の尾のある彗星が発見された (IAUC 9147, 2010 May 13)。

☆ 236P/2003 UY₂₇₅ = 2010 K1 (LINEAR) 5月20.44日 UT、J. V. Scotti は Kitt Peak にある Spacewatch の 1.8-m f/2.7 反射で得た画

像から 21.5 等の P/2003 UY₂₇₅ を検出した
(IAUC 9149, 2010 May 21)。

その他明るい彗星は、C/2005 L3 (McNaught),
74P/Smirnova-Chernykh, C/2008 FK₇₅
(Lemmon-Siding Spring) 等であった。

● 眼視等観測報告

C/2007 Q3 (Siding Spring)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	3.54	12.0	1.2'	4	3.5'	240°	4/5	4/5	EOSX3	張替憲	*
May	1.48	12.4	1.4	4	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	
	1.51	13.2	1.7	4	-	-	4/5	3/5	EOSX3	張替憲	**
	2.49	12.4	1.3	4/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	
	3.47	12.6	1.3	3	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	

C/2009 K5 (McNaught)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	24.72	9.5	3.2'	7	2.0'	250°	3/5	2/5	EOSX3	張替憲	*
May	1.52	8.2	7	7	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	
	2.52	8.5	7	7	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	
	3.50	8.3	5.5	6/	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	
	7.76	8.3	4.5	7	-	-	4/5	4/5	25×10-cmB	佐藤裕久	細い月あり
	8.69	8.2	5	6	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	①
	14.64	7.9	5	5	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	
	14.65	9.1	2.7	5	-	-	3/5	3/5	66×25-cmL	佐藤裕久	
	14.73	8.6	3.3	6/	-	-	4/5	-	45×20-cmC	永島和郎	
	21.70	9.3	2.6	4	-	-	3/5	4/5	EOSX2	張替憲	*
	21.74	8.2	3	4/	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	

C/2009 R1 (McNaught) (写真 a)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
May	1.77	10.9	1.5'	4	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	
	12.78	9.5	7	-	-	-	4/5	3/5	144×70-cmL	関勉	
	14.75	9.0	3.1	3	-	-	4/5	-	45×20-cmC	永島和郎	
	16.75	7.8	3.3	5	-	-	2/5	3/5	EOSX2	張替憲	***
	17.77	8.9	3	4/	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	薄明中
	21.74	8.7	5	4	-	-	2/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	①
	21.76	8.2	3.5	6	3.4'	220°	3/5	4/5	EOSX3	張替憲	*
	21.77	8.1	4	5	-	-	3/5	-	40×20-cmL	上原貞治	円形
	25.74	8.3	7	6	10	300	3/5	3/5	22×15-cmR	関勉	
	31.75	7.5:	5.5	5	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	月明り

P/2010 H2 (Vales)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
May	1.50	11.7	1.9'	6	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一
	2.55	11.7	1.9	5	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一

10P/Tempel

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
May	21.72	11.5	0.8'	3	-	-	3/5	-	79×30-cmL	永島和郎

29P/Schwassmann-Wachmann

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
May	1.47	11.4	2.2'	3	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一
	2.48	11.5	2.2	3	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一
	3.46	11.3	2.3	3	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一

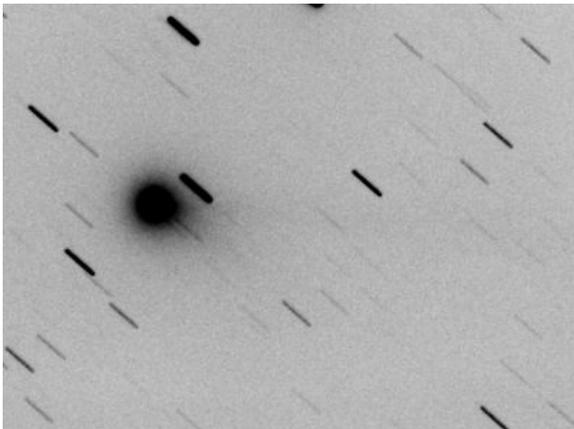
81P/Wild (写真 b)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Apr.	3.59	9.1	3.3'	6	5.0'	280°	4/5	4/5	EOSX2	張替憲	***
May	1.51	9.9	5.5	7	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	
	1.51	10.7	1.8	5	2.2	260	4/5	3/5	EOSX2	張替憲	**
	2.50	9.9	6	6	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一	
	8.66	10.0:	-	-	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	① ②
	14.63	10.6	1.8	4	-	-	4/5	3/5	66×25-cmL	佐藤裕久	①
	21.68	10.6	1.8	4	-	-	4/5	-	79×30-cmL	永島和郎	

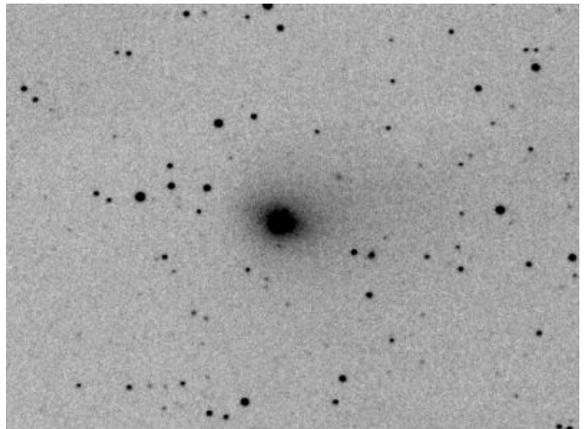
* 200-mm f/2.8 lens 150 秒露出 ** 200-mm f/2.8 lens 210 秒露出

*** 200-mm f/2.8 lens 90 秒露出

① 視野内のバックグラウンドが白っぽい ② 辛うじて認める



(写真 a) C/2009 R1 (McNaught) 2010, 05, 30
3h18.0m-39.5m (JST) exp. 60s×12 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 81P/Wild 2010, 05, 08
0h00.0m-20.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏